

(様式2)


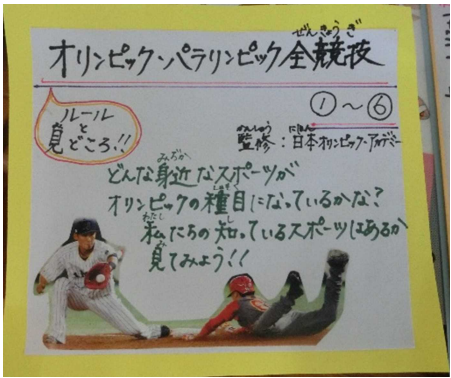
2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 掛川市立倉真小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	実施学年：4～6年生 人数：4年生6人（男子4人、女子2人） 5年生15人（男子6人、女子9人） 6年生11人（男子8人、女子3人）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	パラリンピアンである春田さんの自身の経験や苦労、日々の生活の様子などの話を聞いたり、実際に競走したりする活動を通して、国際的なイベントであるオリンピック・パラリンピックに興味をもち、障がいを抱えた方たちへの理解を深め、共生の考えをもてるようにする。
5 取組内容	・オリンピック・パラリンピック関連の書籍コーナーを設置 ・パラリンピック競技の簡易体験できるコーナーを設置 ・競技に用いられる道具を置くスペースを設置 ・講演会ポスターを校内に掲示 【校内掲示】  



【当日の様子】



6 主な成果

講演だけでなく、実際に講師の方と一緒に走ったり、運動したり、義足や切断部に触れるなどの機会を設定していただいたおかげで、児童にとって曖昧な経験ではなく、「生」の経験をすることができた。活動後の児童の感想を見ると、「今まで抱いていた障がい者や、義足のイメージが変わった。」「教えてもらった走り方を試したら自分の中で変化があった。」「勇気づけられた。」というように講演の前後で自分の中で変化があったと書く児童が多く見られた。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

話を聞くだけでなく、実際に触れたり、走ったり、運動したりする場面を設けることで、児童が実体験することを重視した。また、オリンピック・パラリンピックの歴史などの広く、曖昧な内容ではなく、講師個人の話を聞くことで、より具体的な心情や体験等について知り、児童の興味・関心を強く引きつけることを目的とした。県内出身の方ということもより身近に感じる一因となると考えた。

8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • 感染症対策を行うために4年生以上としたが、講師を招く場合、zoom にしても少なからず集会形式になるため、現状行って良いものか少し悩みながらも実施させていただいた。 • 今年度、ご厚意で物品購入も講師の招待もさせていただけたが、本来どちらかしか実施できないのか、どちらもできるのか、金額によって異なるのか判断に困ってしまうところがあった。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 授業や行事等に必要な物品や書籍購入の需用費